

議 事 録

目 的	第5回尾鷲市総合計画審議会 部会協議
-----	--------------------

日 時	平成28年9月30日(木) 19:00~20:00
-----	---------------------------

場 所	尾鷲市中央公民館 3階講堂
-----	---------------

部 会 名	第3部会
-------	------

内 容	<p>○出席者 委員：佐々木 康次 氏・北村 伸 氏・北村 豪 氏 市：木のまち推進課 内山課長 水産商工食のまち課 野地課長・民部課長補佐兼観光交流係長・三鬼水産振興係長兼水産商工基盤整備係 市長公室 山本主査</p> <p>○主な協議等内容 ・次回開催日 平成28年11月4日(金) 19時～ ・質疑応答 以下のとおり</p> <p>進行：部会長 佐々木 康次 氏</p> <p>○質疑・意見</p> <p>【各施策について】</p> <p>委員：314の観光の部分で、入込客数推移調査について、以前は市が統計を行っていたが、現在は行っていないのか。宿泊については、市内の小売も含めて、経済の波及効果が大きく、観光施策を図る上で重要な要素だと思う。</p> <p>民部補佐：現在、市では調査を行っていない。観光物産協会の宿泊部会とも相談したい。</p> <p>野地課長：県の定める基準に基づいて、観光入込客数の調査が県内統一で行われている。ただし、観光収入額を考えると、宿泊客数の把握は1つのポイントであるので、観光物産協会とも相談して今後検討したい。</p> <p>委員：各事業について具体的に書けないか。41ページの健康づくりの推進では、具体的な記載も見受けられる。</p> <p>山本主査：施策の種類によって、幅の長短があるので、温度差が出ることも考えられる。本部会において、本日までの具体的な事業についての議論については、議事録に残し、今後の実施計画の段階で、予算も含めた協議に活用していくことは考えられる。しかし、事業内容を絞り込んでしまうと、弾力性がなくなってしまうため、将来の方向性を示す総合計画としては、抽象的な内容になってしまうことをご理解いただきたい。</p>
-----	--

委員：総合計画から、どのような具体的な動きが出るかが重要である。

内山課長：総合計画なので、全体的、抽象的な表現になってしまう。実施計画の段階において、事業の具体的な詳細内容について、関係団体等と協議を行っている。以前配布させていただいた総合評価において、各事業の概要を資料として提出した。

委員：「食」の取り組み、何をしたいのかよく分からない。

山本主査：「食」の取り組みも含めた重点的な取り組みと各施策を結びつけるため、方針の後段に紐付けをしている。

野地課長：個別事業に入っていくと、かなり限定した文言になってしまうので、相当なボリューム感になってしまう。ある程度包含した形でないと、書ききれない。

委員：ここから先のまちづくりについて、どのように計画立てて取り組んで行くかを注視していきたい。

委員：東紀州棒対決やスポーツ観光など、東紀州で商圈が一緒になってきている。広域的な取り組みの内容の記載が必要ではないか。

野地課長：実際に連携が進んできていることもある。施策番号314の方針②で、広域的な目線を入れていきたい。

山本主査：施策番号615で、その視点も入っているが、関連したこととして追加していく。

以上